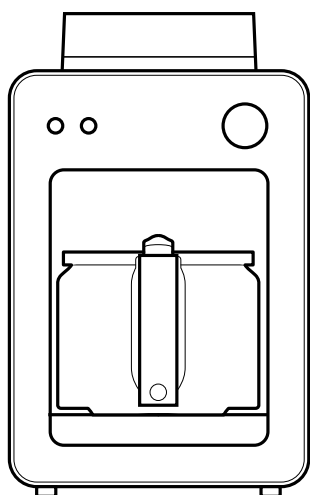


siroca

全自動 コーヒーメーカー

SC-A352/SC-A372



取扱説明書 保証書つき

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

会員登録・機器登録でもっと楽しく便利に

シロカクラブ

新規会員登録中 登録料・年会費無料

うれしい会員特典

- 部品・消耗品が最大20%OFF*
シロカオンラインストア本店で使える
- ポイント 500円分プレゼント
- 製品のお役立ち情報、新製品情報などお届け

* 割引率は部品・消耗品によって異なります。一部対象外の製品もございます。



登録はこちら
所要時間:約2分

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
部品を取り付ける・取り外す	8
お使いになる前の準備	10
コーヒーをいれる	13
タイマーを使ってコーヒーをいれる	18
使い終わったら	20
お手入れ	21
故障かなと思ったら	24
仕様	26
部品・消耗品	26
保証とアフターサービス	27
保証書	28

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



接触禁止

蒸気口や保温プレートに触ったり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コーヒーマシン、ミル付きバスケット、本体ふた、給水タンクなしで使用しない
やけどの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因になります。



禁止

カッターの刃に触れない
けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意事項



禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。



禁止

専用のコーヒーサーバー以外は使用しない

発火・故障・やけどの原因になります。



禁止

抽出中にコーヒーサーバーを外さない

やけどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーをセットしたまま本体を動かさない

コーヒーサーバーが外れて、やけど・けがの原因になります。



禁止

空だきをしない

給水タンクに水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因となります。



禁止

コーヒーサーバーをセットせずに使用しない

故障・やけどの原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



プラグを抜く

長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

水以外のものを入れたり、沸かししたりしない

牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを落としたり、かたいものにぶつけたりしない

コーヒーサーバーが破損して、けがの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーが空の状態のまま保温しない

コーヒーサーバーが破損する原因になります。
また、故障・火災の原因になります。



続けてコーヒーを抽出する場合は、5分間休ませた後で再び抽出する

本体が熱いうちに給水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出して、やけどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしない

コーヒーサーバーが破損したり、取っ手の変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない

コーヒーサーバーが破損して、けがの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーが熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない

コーヒーサーバーが破損して、けがの原因になります。



ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにする

本体内部にミネラル分(湯あか)が付着しやすくなったり、付着したミネラル分(湯あか)がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。

⚠ 注意



禁止

使用直後の熱い保温プレートの上に電源コードをのせない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

給水タンクに満水を目盛り(MAX4)以上の水を入れない

湯がこぼれたり、本体の底から湯が出てやけどの原因になります。



禁止

電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない

電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所で使わない

故障の原因になります。



禁止

ミルにコーヒー豆以外のものは入れない

故障の原因になります。



禁止

水なしで空運転、ミルの連続運転をしない

故障の原因になります。



禁止

本体にふきんなどをかぶせない

変形や故障の原因になります。



禁止

他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。



禁止

使用中に本体ふたやミル付きバスケットを開けない

けが・やけどの原因になります。



禁止

コーヒー抽出直後にメッシュフィルターを直接触らない

やけどの原因になります。



禁止

使用中に給水タンクを外さない



禁止

屋外で使用しない

故障の原因になります。



禁止

テーブルなどからはみ出した状態で使用しない

けが・やけどの原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくはミル付きバスケットの下に手を入れない

しずくが垂れて、やけどの原因になります。



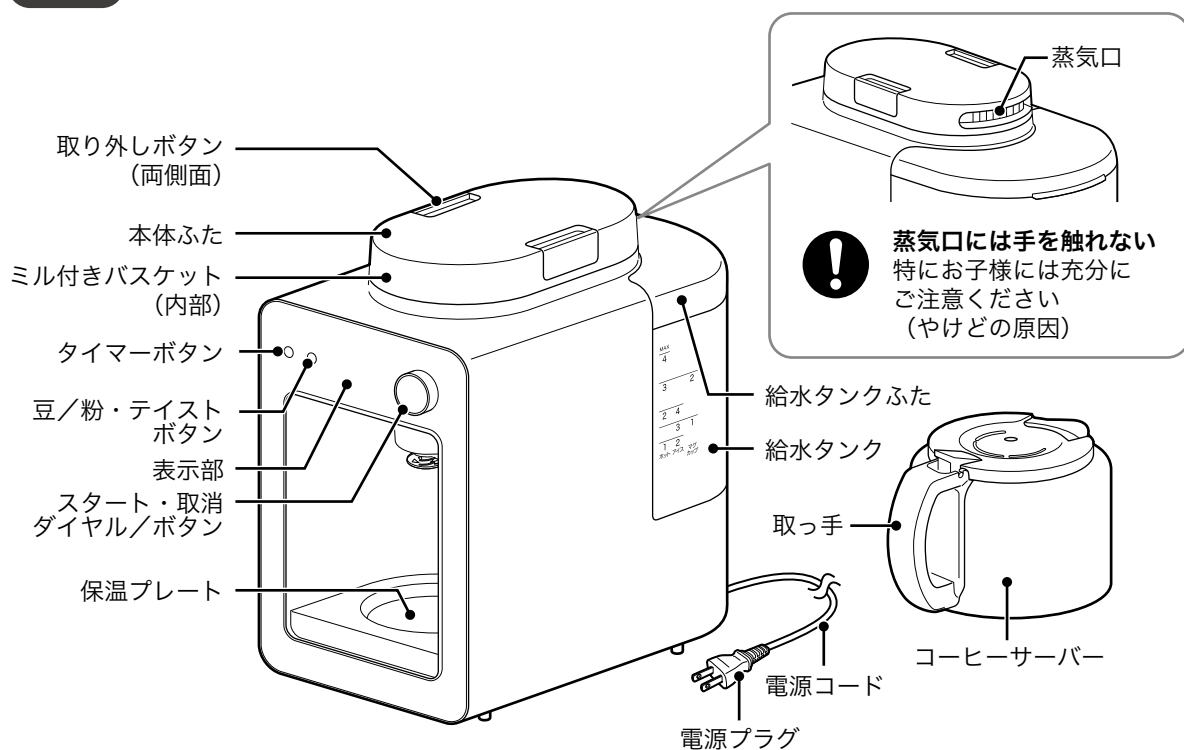
禁止

カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない

コーヒーが飛び散り、カーペットやテーブルクロスを汚す原因になります。

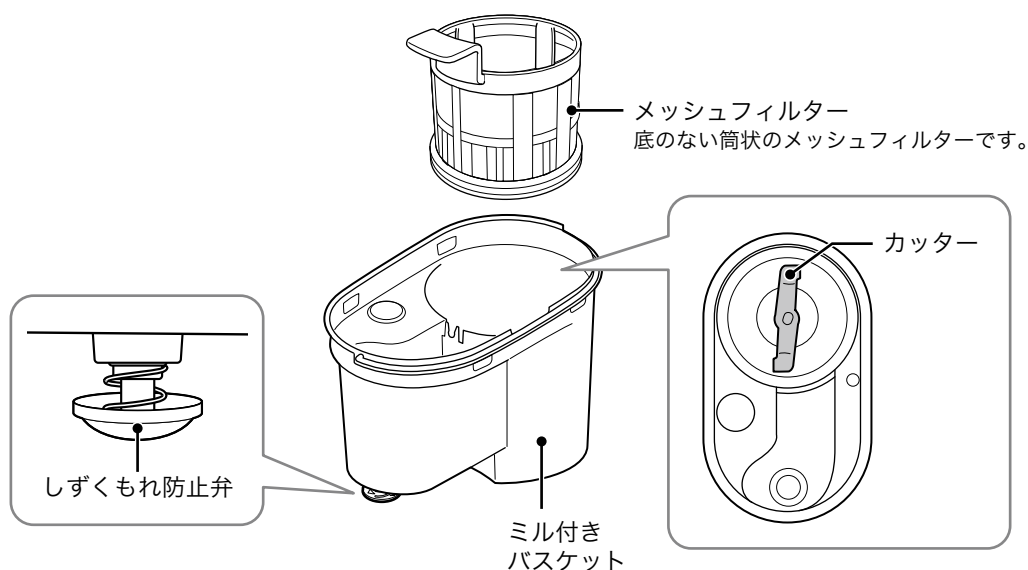
| 各部のなまえ

本体



▶ ミル付きバスケットとメッシュフィルター

ミル付きバスケットは、メッシュフィルターを取り付けて使います。
ミル付きバスケットには、しずくもれ防止弁がついているため、コーヒーがミル付きバスケットから、もれ出ないしくみになっています。



付属品

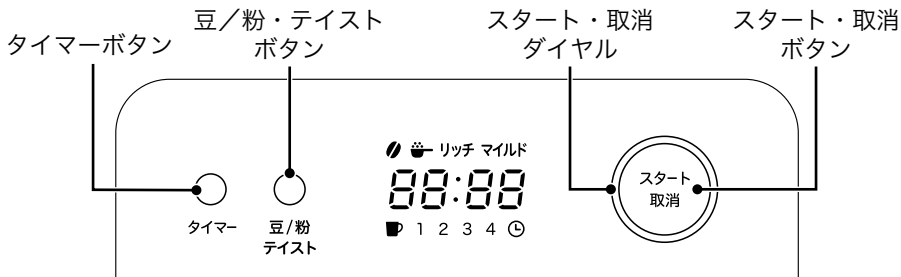
▶ 計量スプーン

コーヒーの粉専用です。(粉すりきり1杯が約6g)

- コーヒー豆は、豆の種類やばい煎によって重さが変わります。電子はかり(スケール)などで計量してください。



操作・表示部



ダイヤル・ボタン	操作	使用用途
	回す	カップ数(豆モード時のみ)、時刻(時計設定時・タイマー時刻設定時)を選択するときに回します。 • 右に回すとカウントアップ、左に回すとカウントダウンします。
	押す	抽出を開始する、操作をキャンセルする(時計設定時・タイマー時刻設定時)、保温を終了する、抽出を中止するときに押します。
	押す	タイマー機能を使うときに押します。 18 ページ
	長押し(約3秒)する	タイマー時刻を設定するときに長押しします。 18 ページ
	押す	豆モード/粉モードとテイスト(蒸らし時間：リッチ・マイルド)を切り替えるときに押します。 15 ページ
	長押し(約3秒)する	時計を再設定するときに長押しします。 11 ページ

表示		使用用途
		タイマー（予約）モード
		粉モード（コーヒー粉から抽出する場合）
	 1	豆モード （コーヒー豆からコーヒーを抽出する場合） ● 豆モードでは、カップ数を1杯～4杯まで設定することができません。
	 2	
	 3	
	 4	
リッチ / マイルド		テイスト（蒸らし時間） リッチ：濃いめ（蒸らし時間長め）、マイルド：普通（蒸らし時間短め）

部品を取り付ける・取り外す

本製品をはじめてお使いになる場合、または本製品のご使用後は、各部品を取り外して洗ってください。

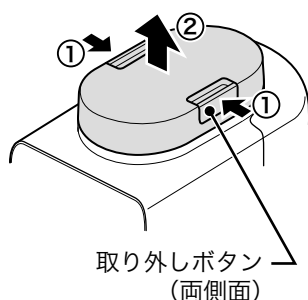
- 各部品の洗浄方法について

➡「お手入れ」 21 ページ

本体ふた

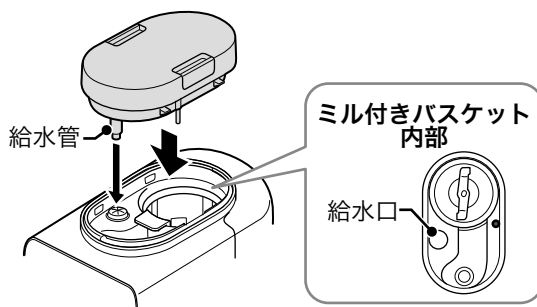
外しかた

本体ふた側面についている取り外しボタンを押しながら、本体ふたを持ち上げます。



取り付けかた

ミル付きバスケットが確実に取り付けられていることを確認し、本体ふたの給水管をミル付きバスケット内部の給水口にまっすぐ差し込みます。その後、本体ふたとミル付きバスケットの向きを合わせて、“カチッ”と音がするまでしっかりと押し込んでください。



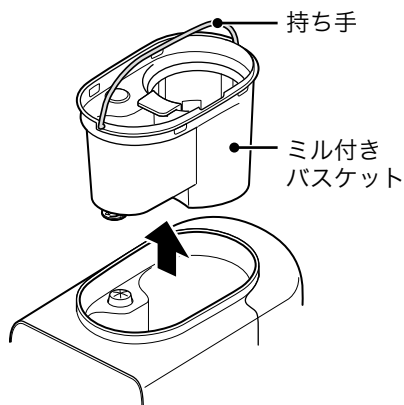
ご注意

- 本体ふたの給水管に無理な力が加わると破損する原因になります。
本体ふたの付け外しは、上記の方法に従ってください。

ミル付きバスケット

外しかた

本体ふたを外した状態で、ミル付きバスケットの持ち手をつかみ、引き上げます。



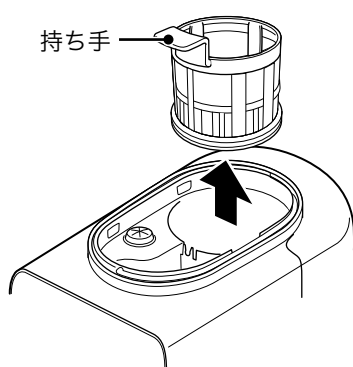
取り付けかた

- ミル付きバスケットが確実に取り付けられていないと、本体ふたを取り付けることができません。

メッシュフィルター

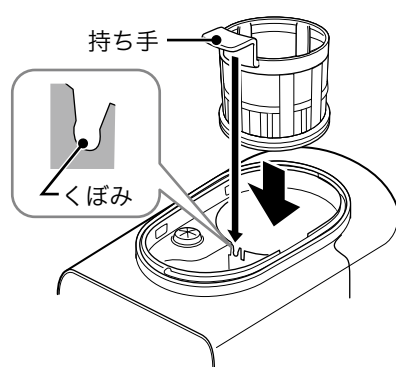
外しかた

メッシュフィルターの持ち手をつかみ、引き上げます。



取り付けかた

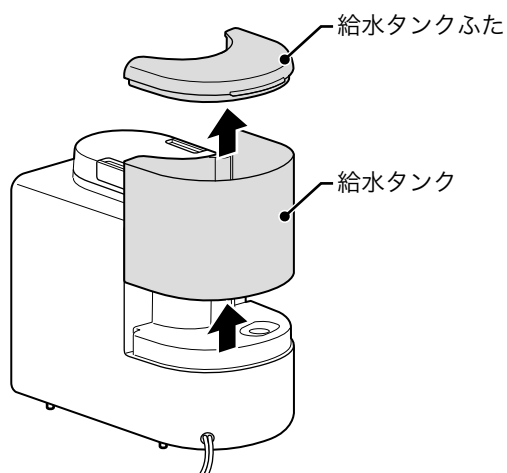
メッシュフィルターの持ち手が、ミル付きバスケットのくぼみにはまるようにセットし、しっかりと押し込みます。



給水タンク・給水タンクふた

外しかた

給水タンクふた、給水タンクをそれぞれ持ち上げて外します。



取り付けかた

給水タンクを本体に差し込み、給水タンクふたを給水タンクに差し込んで取り付けます。

| お使いになる前の準備

時計を設定する

タイマーを使うには、時計の設定が必要です。

電源プラグをコンセントに差し込んだら、はじめに時計を設定してください。

1

電源プラグをコンセントに差し込む

ブザーが鳴って操作・表示部が全て点灯し、電源が「入」になります。その後、表示部の『時』が点滅します。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ際、自動で時計設定モードになります。



ご注意

- 電源プラグを抜くと、時計などの設定はすべてリセットされます。

2

《スタート・取消》ダイヤルを回して『時』を合わせ、《タイマー》ボタンを押して決定する

右に回すとカウントアップ、左に回すとカウントダウンします。

『時』を合わせて《タイマー》ボタンを押すと、ブザーが鳴って『分』が点滅に切り替わります。

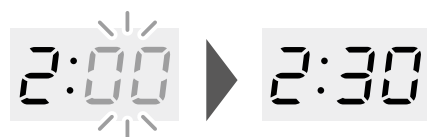


3

《スタート・取消》ダイヤルを回して『分』を合わせ、《タイマー》ボタンを押して決定する

右に回すとカウントアップ、左に回すとカウントダウンします。

『分』を合わせて《タイマー》ボタンを押すと、ブザーが鳴って時計の設定が終了します。



▶ 時計を設定しない場合は

時計の設定中《スタート・取消》ダイヤルを回さずに、《スタート・取消》ボタンを押す

- 時計設定をしなかった場合、時計は[0:00]表示となり、タイマーは使用できません。

時計を再設定する

1 電源「入」時に《豆／粉・テイスト》ボタンを3秒以上長押しする
ブザーが鳴って時計の『時』が点滅に切り替わり、時計設定モードになります。

2 『時』と『分』を設定する
最初に時計を設定したときと同じ手順で設定します。
➡「時計を設定する」手順2～3 **10 ページ**

本体の内部を洗浄する

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。以下の手順で本体内部を洗浄してからお使いください。

ご注意

- 本体内部の洗浄をするときは、コーヒー豆・コーヒー粉をセットしないでください。

1 本体ふた・ミル付きバスケット・コーヒーサーバー・メッシュフィルター・給水タンク・給水タンクふたを本体から取り外して、それぞれを水洗いする

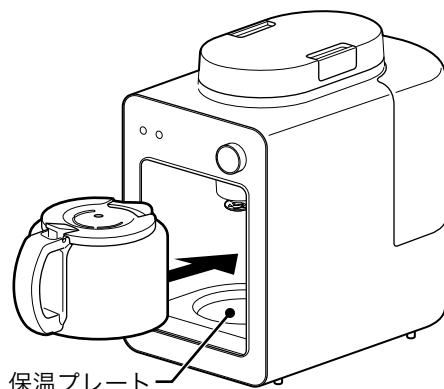
➡「部品を取り付ける・取り外す」 **8 ページ**

2 本体ふた・ミル付きバスケット・メッシュフィルターの水気を充分に取り、本体にセットする

- 本体ふた・ミル付きバスケット・メッシュフィルターの取り付けについて
➡「部品を取り付ける・取り外す」 **8 ページ**

3 給水タンクに満水を目盛り(MAX4)まで水を入れて本体にセットし、給水タンクふたを取り付ける

4 コーヒーサーバーを
保温プレートの上にセットする



次のページにつづく➡

| お使いになる前の準備

5

《豆／粉・テイスト》ボタンを押して ☕ (粉)・マイルドを選び、
《スタート・取消》ボタンを押して水だけで抽出する

- コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。

6

《スタート・取消》ボタンを押して保温を終了する

7

抽出したお湯を捨て、コーヒーサーバーを水ですすぐ

8

本体が冷めるまで待ってから、3～7の手順を1～2度行う

表示部の自動消灯設定を切り替える

表示部を自動消灯させることができます。自動消灯設定がオンのとき、約5分間何も操作を行わないと、表示部が自動消灯します。表示部が消灯中にダイヤルやボタンを操作すると、一時的に表示部が点灯します。

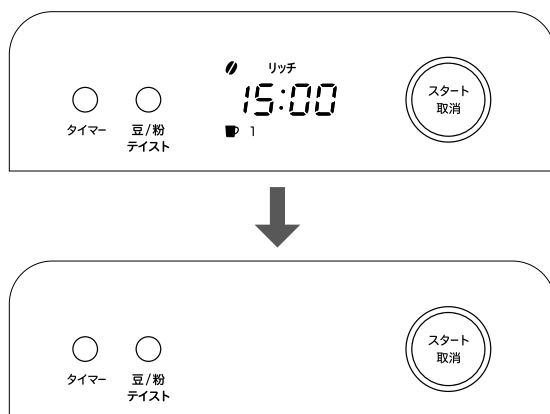
タイマー（予約）を設定していない状態で、《豆／粉・テイスト》ボタンと《タイマー》ボタンを同時に3秒以上長押しする

長押しするたびに、自動消灯設定のオン／オフが切り替わります。

お買い上げ時の設定はオフ（表示部常時点灯）です。

ご注意

電源プラグを抜くと、自動消灯設定はリセットされます。



| コーヒーをいれる

コーヒー粉・コーヒー豆の使用量の目安

▶ コーヒー粉をはかるとき

付属の計量スプーンを使用する場合、すりきり1杯につき約6gが目安です。

- コーヒー粉27gの場合：4 + 1/2杯が目安です。

▶ ホットコーヒー

カップ数	豆・粉の量	豆モード	粉モード
1杯	12g	 1	
2杯	18g	 2	
3杯	24g	 3	
4杯	27g	 4	

▶ コーヒー豆をはかるとき

コーヒー豆は、ばい煎や豆の種類によって重さが変わるため、電子はかり(スケール)などで計量してください。

- 付属の計量スプーンはコーヒーの粉専用です。

▶ マグカップ

カップ数	豆・粉の量	豆モード	粉モード
1杯	15g	 2	
2杯	24g	 3	

▶ アイスコーヒー

カップ数	豆・粉の量	豆モード	粉モード
2杯	18g	 2	
3杯	24g	 3	
4杯	27g	 4	

コーヒー豆の選びかた

コーヒー豆は煎りかたにより、豆をひいた後の粉の細かさや油分の量が変わります。

豆の種類	苦み	硬さ	油分
浅煎り豆	弱い	硬い	少ない
中煎り豆	↕	↕	↕
深煎り豆	強い	もろい	多い

おしらせ

- 本製品におすすめのコーヒー豆は、豆の硬さと油分が適度な「中煎り豆」です。
- 苦みが強いコーヒー豆(一般に深煎りと分類されます)は、豆の硬さがもろく、豆をひくと粒が細くなりやすいため、抽出後のコーヒーに細かい粉が混ざったり、また、油分の多いコーヒーに仕上がる場合があります。

| コーヒーをいれる

コーヒーをいれる

タイマーを使用する場合は、「タイマーを使ってコーヒーをいれる」**18ページ**をご覧ください。

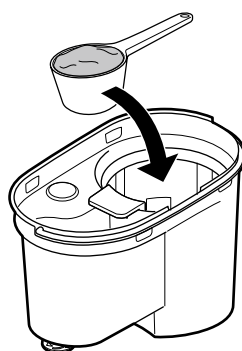
1 本体ふたとミル付きバスケットを取り外し、 作りたいカップ数分のコーヒー豆・コーヒー粉を入れる

- ①** 豆・粉を入れる前に、メッシュフィルターがミル付きバスケットにしっかりセットされているか確認する

➡「部品を取り付ける・取り外す」**8ページ**

- ②** 作るコーヒーのカップ数に応じたコーヒー豆・コーヒー粉をはかり、メッシュフィルター内に表面を平らにして入れる

➡「コーヒー粉・コーヒー豆の使用量の目安」**13ページ**



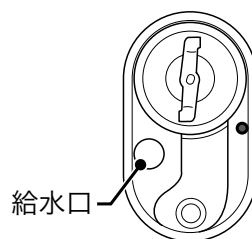
2 ミル付きバスケットと本体ふたを取り付ける

➡「部品を取り付ける・取り外す」**8ページ**

ご注意

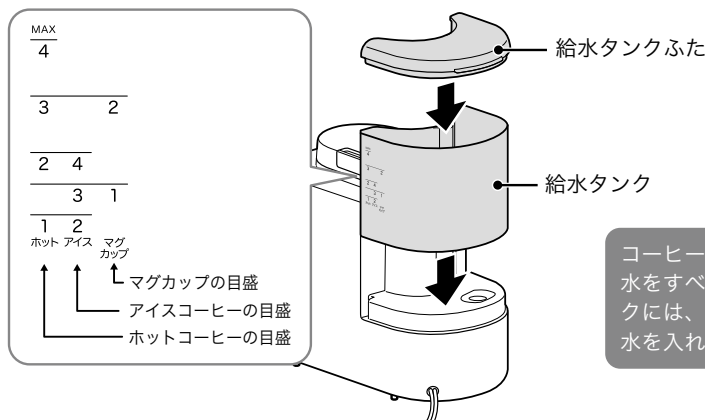
- 本体ふたを閉めるとき、給水口にコーヒー豆などの異物がないことを必ず確認してください。

給水口にコーヒー豆などの異物が入ったまま本体ふたを閉めると、故障の原因になります。



3 給水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

作るコーヒーのカップ数に応じた給水目盛の位置まで水を入れます。給水タンクを本体に取り付けると、本体内部に水が流れ込み、目盛より水位が下がることがあります。



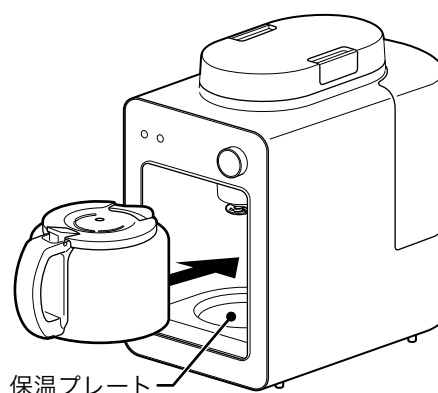
コーヒーの抽出は、給水タンク内の水をすべて使いぎります。給水タンクには、1回にコーヒーを抽出する水を入れてください。

ご注意

- 給水タンクを本体に取り付けた状態で水を入れないでください。
また、給水タンクの取り付け・取り外しの際は、給水タンク内の水がこぼれないように注意してください。
水が本体内部に入り、故障の原因になります。
- 流し台などのぬれた場所に本体を置かないでください。底面がぬれて、故障の原因になります。
- 満水を目盛り(MAX4)以上の水は入れないでください。ふきこぼれの原因になります。また、最低目盛(ホットコーヒー 1杯分)より多くの水を入れてください。空だきすると、故障の原因になります。

4

コーヒーサーバーを保温プレートの上にセットする



5

《豆／粉・テイスト》ボタンを押してモードとテイストを設定する

押すたびに次の順で設定が変わります。

● (豆) リッチ → ● (豆) マイルド →
☕ (粉) リッチ → ☕ (粉) マイルド



モード・テイスト設定について
➡ 「操作・表示部」 7ページ

コーヒー豆から
コーヒーをいれる

豆モードを選択し、《スタート・取消》ダイヤルを回してカップ数を選択します。右に回すとカウントアップ、左に回すとカウントダウンします。



コーヒー粉から
コーヒーをいれる

粉モードを選択します。



6

《スタート・取消》ボタンを押す

ブザーが鳴って右図のように表示され、コーヒーの抽出が始まります。抽出の途中、お湯の注入が一時的に停止し、蒸らしの工程が入ります。



- 本体ふたやミル付きバスケットがきちんと取り付けられていない場合は、ブザーが鳴り、表示部にエラーが表示されます。
- 抽出を途中で中止する場合は、《スタート・取消》ボタンを押してください。

抽出が終了すると…

ブザーが鳴り、選択モードのアイコン(☕ または ☕)の表示が点灯から点滅に変わります。抽出終了後30分間は自動的に保温されます(保温時間の表示が1分ごとにカウントダウンしていきます)。



ご注意

- 給水タンクが空の状態、抽出を行わないでください。
故障の原因となります。
- 抽出中は、絶対に本体のふたを開けたり、蒸気口に手や顔を近づけたりしないでください。
やけどの原因になります。
- コーヒー豆の種類や使用量によっては、抽出終了後もミル付きバスケットの中にコーヒーが残る場合があります。その場合は、抽出が止まるまでお待ちください。

7

保温を終了するときは、《スタート・取消》ボタンを押す

- 《スタート・取消》ボタンを押して保温を終了しなくても、30分後に自動で保温を終了します。

8

コーヒーを注ぐ

あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。



ご注意

- 抽出直後のコーヒーサーバーは高温になっています。コーヒーサーバーを持つときは、必ず取っ手を持ち、コーヒーサーバー本体(ガラスまたはステンレス部分)には触らないように注意してください。
- コーヒーサーバーの蒸気口やそそぎ口から高温の蒸気が出ます。やけどに注意してください。

コーヒーの保温について

抽出後30分間は自動的に保温されます。保温のみを行う機能はありません。コーヒーは長時間保温すると、香りが飛んで風味が悪くなります。なるべく早めにお召し上がりください。

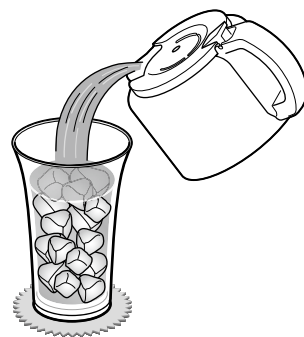
アイスコーヒーの作りかた

①14ページの「コーヒーをいれる」と同じ手順でコーヒーを抽出する

- コーヒー豆・コーヒー粉は深煎りのものをお使いください。
- 水は、給水タンクのアイスコーヒー用の給水目盛に合わせて入れてください。

②抽出したコーヒーを別容器に移し、あら熱を取ってから冷蔵庫に入れて冷やす

- 抽出後すぐにアイスコーヒーを飲みたい場合は、氷を入れたグラスなどに抽出したコーヒーを注いでください。
- お好みでシロップやクリームを加えてお召し上がりください。
- あらかじめグラスなどを冷やしておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。



| タイマーを使ってコーヒーをいれる

タイマーを使うと、あらかじめ設定した時刻に運転を開始します。

ご注意

タイマーを使うには、時計の設定が必要です。あらかじめ設定を行ってください。

➡「時計を設定する」10ページ

タイマー時刻を設定する

1

《タイマー》ボタンを3秒以上長押しして、
タイマー時刻の設定モードに切り替える

ブザーが鳴ってタイマー時刻の設定モードに切り替わると、
⌚ アイコン、時刻の『時』が点滅します。



2

タイマー時刻の設定をする

①

《スタート・取消》ダイヤルを回して『時』を合わせ、
《タイマー》ボタンを押して決定する

右に回すとカウントアップ、左に回すとカウントダウンします。
『時』を合わせて《タイマー》ボタンを押すと、ブザーが鳴って
『分』が点滅に切り替わります。



②

《スタート・取消》ダイヤルを回して『分』を合わせ、
《タイマー》ボタンを押して決定する

⌚ アイコン、時刻の『分』が点滅から点灯に切り替わってタイ
マー（予約）が実行される時刻が設定されます。



そのままタイマー（予約）を開始する場合は「タイマー（予約）
を使うとき」18ページ を参照してください。



タイマー（予約）を使うとき

一度タイマー時刻を設定すると、電源プラグをコンセントから抜かない限り、前回設定した時刻が記憶されています。

1

部品の取り付けや、コーヒー豆・コーヒー粉、水の準備をする

• 「コーヒーをいれる」手順1～4 14ページ を参照してください。

ご注意

- コーヒーサーバーやメッシュフィルターを必ずセットしてください。
セットし忘れると、抽出中にコーヒーがあふれ出し、機器の故障・周囲の汚損の原因になります。

2

抽出の設定をする

- ➡ 「コーヒーをいれる」手順5 **15 ページ** を参照してください。

3

《タイマー》ボタンを押す

設定済みのタイマー時刻が表示されます。⌚ アイコン、時刻、[:] が5秒間点滅します。



4

タイマー時刻を確認し、5秒以内に《タイマー》ボタンを押して、タイマー（予約）を開始する

- ⌚ アイコンが点灯し、現在の時刻が表示されます。
 - タイマー（予約）設定中でも、抽出設定を変更できます。
➡ 「コーヒーをいれる」手順5 **15 ページ** を参照してください。
 - 本体ふたやミル付きバスケットがきちんと取り付けられていない場合は、ブザーが鳴り、表示部にエラーが表示されます。



ご注意

電源プラグをコンセントから抜くと、時計やタイマー（予約）設定がリセットされるため、タイマー（予約）は実行されません。

タイマー（予約）を解除するとき

1

《スタート・取消》ボタンを押す

- ⌚ アイコンが消灯します。
その後、新たに設定する場合は「タイマー（予約）を使うとき」**18 ページ** を参照してください。



| 使い終わったら

ご注意

- 片付けやお手入れは、必ず保温を終了して本体が充分冷めた後(約30分後)に行ってください。

1

本体が充分に冷めてから、抽出済みのコーヒー粉を捨てる

① 本体ふたを取り外す

取り外しかたについて

➡「本体ふた」 8ページ

② ミル付きバスケットを取り外す

取り外しかたについて

➡「ミル付きバスケット」 8ページ

③ ミル付きバスケット内のコーヒー粉は、水を切って廃棄する



ご注意

- 抽出済みのコーヒー粉はミル付きバスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。そのまま放置すると、カビや雑菌が発生する原因になります。

2

取り外した部品と本体のお手入れをする

本体ふた・ミル付きバスケット・コーヒーサーバー・メッシュフィルターは、本製品をお使いになるたびに必ず洗ってください。

- 各部品の洗浄方法について
➡「お手入れ」 21ページ

お手入れ

ご注意

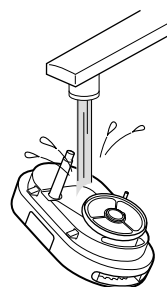
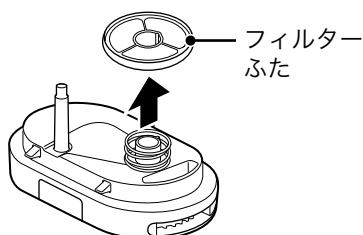
- お手入れは、必ず保温を終了して本体が充分冷めた後(約30分後)に行ってください。
高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロン・金属製のたわしは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。
- お手入れした各部品は、充分に乾いてから本体にセットしてください。
水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

本体ふた

① 台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぐ

おしらせ

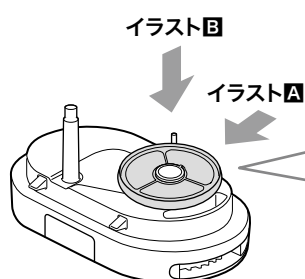
- 本体ふたのフィルター（フィルターふた）は、取り外して洗うことができます。



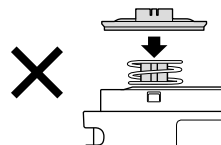
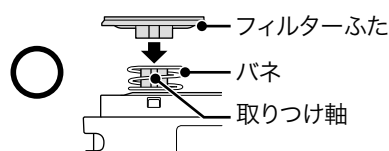
② よく乾かしてから、本体にセットする

▶ フィルターふたの取り付けについて

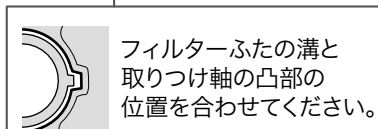
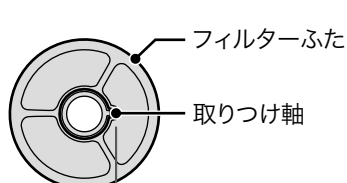
フィルターふたを取り付ける場合は、必ず取りつけ軸にバネがあることを確認し、フィルターふたの向きと取り付け位置に注意してください。



イラストA(横から見たイラスト)



イラストB(上から見たイラスト)



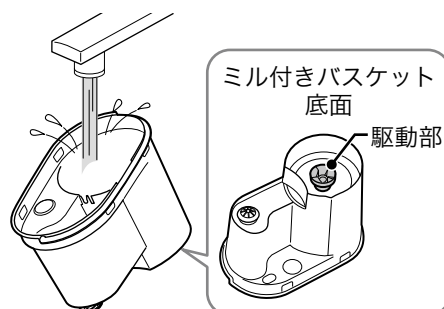
お手入れ

ミル付きバスケット

- 1 台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぐ
ミル付きバスケット内部にあるカッターに注意して洗ってください。

ご注意

- ミル付きバスケットをつけ置きしたり、底面の駆動部に水をかけるなどは、絶対にしないでください。
ミル付きバスケット底面の駆動部が腐食したり、サビたりして、故障の原因となります。



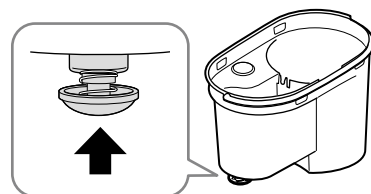
- 2 よく乾かしてから、本体にセットする

▶ しずくもれ防止弁のお手入れについて

ミル付きバスケットの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2～3回押し上げて、汚れを洗い流します。

ご注意

- しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーがもれることがあります。
本製品を使用するたびに、しずくもれ防止弁を必ず洗ってください。



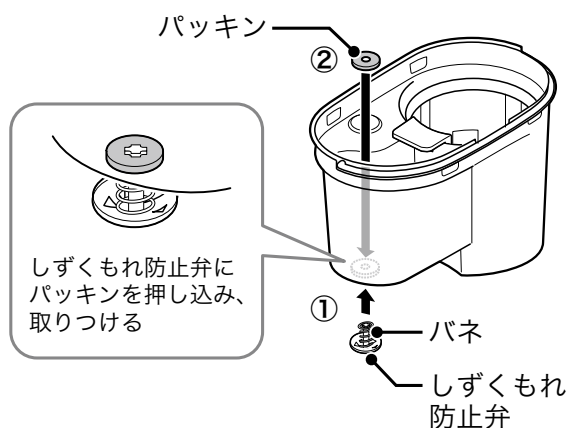
▶ しずくもれ防止弁が外れた場合

以下の手順で取り付けてください。

- 1 しずくもれ防止弁にバネをつけた状態で、ミル付きバスケットの底面に差し込む

- 2 ミル付きバスケットの内側にパッキンを置いて、しずくもれ防止弁にパッキンを取り付ける

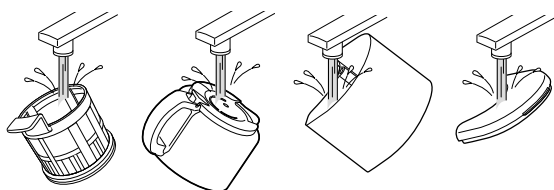
パッキンが手で取り付けにくい場合は、先の長いもの(口の広いストローなど)を使って取り付けてください。



メッシュフィルター・コーヒーサーバー・給水タンク・給水タンクふた

① 台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぐ

メッシュフィルターの網目に詰まったコーヒー粉は、毛の柔らかいブラシで払って取り除いてください。



② よく乾かしてから、本体にセットする

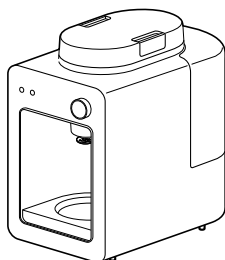
本体外部

ご注意

- 直接水をかけたり、丸洗いをしたりしないでください。

やわらかいふきんでふきます。

汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませてふき取ってください。



本体内部

ご使用いただいているうちに、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が本体内部に付着します。これは湯あか(水あか)といわれるもので衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

- ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル分(湯あか)が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

通常のお手入れ

やわらかいふきんでふきます。

クエン酸洗浄(汚れがひどいとき)

ご注意

- コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。

- ① コーヒーサーバーを保温プレートにセットする
- ② 給水タンクの満水を目盛り(MAX4)まで水を入れ、クエン酸(約10 g)を加えて溶かす
- ③ 給水タンク、ミル付きバスケット、メッシュフィルター、本体ふたを本体に取り付ける
 コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。
- ④ 《豆/粉・テイスト》ボタンを押して ☕ (粉)・マイルドを選ぶ
- ⑤ 《スタート・取消》ボタンを押す
 抽出が終了したら、お湯を捨てて、コーヒーサーバーをよくすすぎます。
- ⑥ クエン酸のにおいを取るため、水を満水を目盛り(MAX4)まで入れて2～3回抽出する

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

こんなとき	ここを確認してください
作動しない	- 電源プラグが抜けていませんか。 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 - 本体ふたが正しく取り付けられていますか。 本体ふたの給水管をミル付きバスケットにまっすぐ差し込み、“カチッ”となるまでしっかりと取り付けてください。
抽出の途中で電源が切れる	本体ふたが正しく取り付けられていますか。 本体ふたは、“カチッ”となるまでしっかりと取り付けてください。
抽出中に本体ふたから蒸気が激しくもれる	本体ふたの給水管や、本体の給水口にコーヒー豆などの異物が詰まっていますか。 異物を取り除いてください。取り除けない場合は、シロカサポートセンターにご連絡ください。
コーヒーが抽出されない コーヒーがコーヒーサーバーに落ちてこない	- 給水タンクに水が入っていますか。 給水タンクに、作るコーヒーのカップ数に応じた分量の水を入れてください。 - しずくもれ防止弁にコーヒーの粉が詰まっていますか。 しずくもれ防止弁はご使用ごとにお手入れしてください。 - コーヒーサーバーが正しくセットされていますか。 コーヒーサーバーを保温プレートに正しくセットしないと、しずくもれ防止弁が開かずコーヒーが落ちてきません。コーヒーサーバーは、保温プレートの奥までセットしてください。 - メッシュフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 メッシュフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、毛の柔らかいブラシで払って取り除いてください。 - 本体ふたのフィルターふたが正しい向きで取り付けられていますか。 フィルターふたの取り付け状態を確認してください。➡「フィルターふたの取り付けについて」 21 ページ - フィルターふたの取り付けの向きを間違えると、コーヒーがメッシュフィルターからあふれ出し、ミル付きバスケット底のしずくもれ防止弁が詰まる原因になります。
抽出したコーヒーがコーヒーサーバーからあふれる	給水タンクに満水を目盛り(MAX4)以上の水を入れていませんか。 水は満水を目盛り(MAX4)以下にしてください。
抽出したコーヒーの出が悪い 抽出に時間がかかる	- 本体内部に湯あか(水あか)などが付着して汚れていませんか。 湯あか(水あか)などの汚れがひどくなると、お湯の出が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。➡「クエン酸洗浄(汚れがひどいとき)」 23 ページ - メッシュフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 メッシュフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、毛の柔らかいブラシで払って取り除いてください。
コーヒーがすべて落ちきらず、ミル付きバスケットに残る	- メッシュフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 メッシュフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、毛の柔らかいブラシで払って取り除いてください。 - コーヒー豆の種類や使用量によっては、抽出終了後もミル付きバスケットの中にコーヒーが残る場合があります。その場合は、抽出が止まるまでお待ちください。
ミル付きバスケットの中に、コーヒー豆がひかれずに残る	本製品はプロペラ式ミルを使用しているため、ミル付きバスケット内のコーヒー豆の状態によっては、コーヒー豆がひかれずにそのまま残る場合があります。

こんなとき	ここを確認してください
ミル付きバスケットから コーヒーがもれる	• コーヒー豆・コーヒー粉を入れすぎていませんか。 コーヒー豆・コーヒー粉を入れすぎると、メッシュフィルターからあふれて、ミル付きバスケット底のしずくもれ防止弁に詰まることがあります。コーヒー豆・コーヒー粉の量を調整してください。 • 本体ふたのフィルターふたが正しい向きで取り付けられていますか。 フィルターふたの取り付け状態を確認してください。➡「フィルターふたの取り付けについて」 21 ページ • フィルターふたの取り付けの向きを間違えると、コーヒーがメッシュフィルターからあふれ出し、ミル付きバスケット底のしずくもれ防止弁が詰まる原因になります。
コーヒーが粉っぽい コーヒーサーバーやコーヒー を注いだカップの中に コーヒーの粉が混ざる	• 作るカップ数に対して、正しい量のコーヒー豆を入れていますか。 コーヒー豆の量は、計量スプーンではなく、電子はかり（スケール）で正確にはかってください。付属の計量スプーンは、コーヒーの粉専用です。（粉すりきり1杯が約6g） • フィルターがメッシュタイプのため、紙タイプのフィルターに比べると目が粗く、抽出されたコーヒーにコーヒーの粉が混ざることがあります。
抽出するとプラスチック臭が する	使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。 お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回水だけで抽出してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください。 ➡「クエン酸洗浄（汚れがひどいとき）」 23 ページ
しずくもれ防止弁が取れた	必要な部品（パッキン、パネ）が不足していないことを確認して、取り付けてください。 部品を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはインターネットでお買い求めください。 ➡「しずくもれ防止弁が外れた場合」 22 ページ ➡「部品・消耗品」 26 ページ
電源コード・電源プラグ・保 温プレートに損傷が見られる	直ちに使用を中止して、シロカサポートセンターへご連絡ください。
本体の部品や、コーヒーサー バーなどを破損してしまった	お買い上げの販売店またはインターネットでお買い求めいただき、新しいものと交換してください。➡「部品・消耗品」 26 ページ
エラーメッセージ「C01」が 表示される	本体ふたを取り付けていますか。 本体ふたとミル付きバスケットの向きを合わせて、“カチッ”と音がするまでしっかりと押し込んでください。
エラーメッセージ「C02」が 表示される	ミル付きバスケットを取り付けていますか。 本体ふたとミル付きバスケットの向きを合わせて、“カチッ”と音がするまでしっかりと押し込んでください。

| 仕様

品名(型番)	全自動コーヒーマーカー (SC-A352/SC-A372)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	600 W
質量(約)	2.7 kg (サーバー含む)
外形寸法(約)	幅 16.2 cm × 奥行 28 cm × 高さ 26.4 cm
電源コードの長さ(約)	1.2 m
抽出方式	ドリップ方式
最大使用水量	550 mL
付属品	計量スプーン
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品



部品・消耗品の
ご購入はこちら

「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。
プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
コーヒーサーバー (ガラス：SC-A352付属)	STC-401GP	メッシュフィルター (※)	SC-A211MF
コーヒーサーバー (ステンレス：SC-A372付属)	STC-501SP	計量スプーン	SC-A111KS
給水タンクふた (SC-A352)	SC-A351KTF	本体ふた (SC-A352)	SC-A351LB-K
給水タンクふた (SC-A372)	SC-A370KTFTD	本体ふた (SC-A372)	SC-A370LBTD
給水タンク	SC-A351KT	ミル付きバスケット	SC-A351MB-K
		しずくもれ防止弁	SC-A351PV-K

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。
保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を！ —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認いただき、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - － 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - － コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - － 本体が変形したり、異常に熱い
 - － サーバーの取っ手がぐらつく
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、または
シロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品 名：全自動コーヒーマーカー

型 番：SC-A352/SC-A372

保証期間：お買い上げ日より本体 1 年間

お 客 様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お買い上げ日： 年 月 日

製 造 番 号：

販 売 店：店名・住所・電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状
などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない
場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内
容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセン
ターまでご依頼ください。

ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。

なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
- (6) 本書のご提示がない場合。
- (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明する
レシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認
できるものの提示がない場合。
- (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
- (9) 腐食による故障、及び損傷。
- (10) 消耗部品の交換。
- (11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。

2. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、
処分させていただきます。

3. 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。

4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限す
るものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090014

お客様サポート

二次元コードからもアクセスできます

故障・修理のお問い合わせ、修理代金の目安、
使いかた・お手入れなどのよくあるご質問はこちら



シロカ サポート

検索



部品・消耗品の
ご購入はこちら



シロカサポートセンター

ナビダイヤル 0570-001-469 受付時間：10:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日を除く）

非通知設定の方は「186」をつけて発信番号通知のご協力を願います。サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。